

サザ き かっまさ く どう まさ あき かき の ゆう いち ふか そ ゆたか 鈴木 克昌さん 工藤 正明さん 垣野 祐一さん 深谷 豊さん

早朝、朝日が昇り梨の色が確認できるようになるころから収穫作業は始まる。朝一番で作業するのは、夕方から夜にかけて木の養分をたっぷりため込んだ梨の実を収穫するためだ。みずみずしく、さっぱりした甘さが特徴の幸水は8月中旬に、少し涼しくなってきたころに好まれる濃い味と、程よい酸味のある豊水は9月初旬にそれぞれ旬を迎える。赤土、黒墨、砂地と多様な土質に育まれるひさい梨に共通するのは、その温暖な気候にある。1年を通して太陽光に恵まれ、甘さが出やすい環境にあるという。鈴木さんは「農園直売所で販売しており、食べ頃の新鮮なものを店頭に並べている。完熟梨を食卓に届けたい」と目尻を下げた。津南部で栽培される良質な梨を一度ご賞味あれ。



津ぶっことは…津市の農林水産業をもっと元気にするため、ブランド品目として推進している13品目の産品 ▶次回は「杉」







広報つ!

毎月1日・16日発行

●編集·発行 津市政策財務部広報課 〒514-8611 西丸之内23-1

№059-229-3111

●印刷

寿印刷工業株式会社